

事前評価表

1. 案件名

国名：ウガンダ共和国

案件名：カンパラ市交通流管理能力向上プロジェクト

The Project for Capacity Enhancement of KCCA in Management of Traffic Flow in Kampala City

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における道路セクターの開発実績（現状）と課題

ウガンダは人口 34,759 千人（2013）、1 人当たり GNI 440US ドル（2012）である。鉄道網が機能していないため貨物及び旅客運搬の 92%以上が道路によって担われており、経済開発上、道路が非常に重要な位置を占めている。人口の約 1 割が集中する大カンパラ都市圏では交通混雑が深刻な問題となっており、JICA が 2010 年に実施した「大カンパラ都市圏道路網及び交通改善計画調査」（以下、2010 年調査）によると、主要幹線道路における日交通量の伸び率は 1997 年から 2010 年にかけて 11.6%となっているほか、主要交差点では容量を超える車両の流入が続いている。これらの状況により、郊外から市中心部に流入する通勤・通学交通による朝夕の交通ピーク時の渋滞だけでなく、市中心部においては恒常的に渋滞が発生しており、カンパラ市中心部の交通改善が求められている。

(2) 当該国における道路セクターの開発政策と本事業の位置づけ

2009 年にウガンダ政府が策定したカンパラ都市交通計画（目標年次 2018 年）においては、主要幹線道路の拡幅および高規格化、交差点改良等からなる道路網改善をコンポーネントの一つに位置付けている。また、2010 年 4 月から実施されている国家開発計画(2010/2011 年-2014/2015 年)でも、大カンパラ都市圏の交通改善について言及されている。本プロジェクトは、カンパラ市内の交通改善に向け、市内の都市道路を管轄する KCCA の能力強化を図ることを目指している。

(3) 道路セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

我が国の対ウガンダ国別援助方針では、道路の運営・維持管理の必要性について言及されており、JICA は、2010 年調査において、市中心部における幹線道路の拡幅と混雑の激しい交差点の立体化を優先事業として提案し、プレ F/S を実施した。これを受け、JICA は有償資金協力事業「大カンパラ都市圏道路網改善事業」の実施に向けた協力準備調査を 2012 年から実施している。

(4) 他の援助機関の対応

前述のカンパラ都市交通計画では道路網改善とともに公共交通志向型開発（Transit Oriented Development: TOD）を推進するとしており、この一環として、世界銀行等の資金協力によるバス・ラピッド・トランジット（以下、BRT）のフィージビリティスタディ（以下、F/S）及び詳細設計調査が進行中であるほか、EUが北バイパス拡幅、中国がカンパラーエンテベ間有料道路建設の支援を行っている。また、世界銀行の資金協力によりカンパラ市内の交差点・信号機の改良・整備も予定されていることから、本事業との相乗効果が期待される。

3. 事業概要

(1) 事業目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

対ウガンダ国別援助方針では、「経済成長を実現する環境整備」を重点分野としており、本事業はその中の「運輸改善プログラム」に位置付けられる。本事業は、カンパラ市内において、カンパラ首都庁(KCCA)による交差点を中心とする交通流管理能力の強化に向けた活動を行うことにより、KCCA のカンパラ市内における交通流管理能力の強化を図り、カンパラ市内主要道路の交通流円滑化に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ウガンダ国カンパラ市

(3) 本事業の受益者（ターゲットグループ）

直接受益者：カンパラ首都庁（KCCA：Kampala Capital City Authority）

間接受益者：カンパラ市民

(4) 事業スケジュール（協力期間）

2015年2月～2018年1月（予定）

(5) 総事業費（日本側）

約3.6億円（予定）

(6) 相手国側実施機関

KCCA

(7) 投入（インプット）

1) 日本側

1. 専門家派遣

- ・ 総括/都市交通政策
- ・ 都市道路計画
- ・ 交差点改良計画
- ・ 交通信号計画
- ・ 交通信号維持管理
- ・ 研修計画/広報活動

- 2. 本邦研修
- 3. セミナー/ワークショップ
- 2) ウガンダ国側
 - 1. カウンターパートの配置
 - 1)プロジェクト・ダイレクター
 - 2)プロジェクト・マネージャー
 - 3)プロジェクト・コーディネーター
 - 4)カウンターパート
 - 2. 事務所スペースの提供
 - 3. パイロットプロジェクトの詳細設計及び供与機材据え付け
 - 4. 供与機材の運営維持管理
- (8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発
 - 1) 環境に対する影響/用地取得・住民移転
 - ① カテゴリ分類 (A,B,C を記載) : C
 - ② カテゴリ分類の根拠

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010年4月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。
 - 2) ジェンダー平等推進・平和構築・貧困削減

交差点改良に伴う交通弱者の安全性の上昇
 - 3) その他

特になし
- (9) 関連する援助活動
 - 1) 我が国の援助活動

協力準備調査を実施した有償資金協力事業「大カンパラ都市圏道路網改善事業」では、カンパラ市内で最も混雑する2カ所の交差点の立体化、周辺道路の拡張及び交差点改良を行う予定であり、これによりカンパラ市内の交通渋滞の解消が期待されている。
 - 2) 他ドナー等の援助活動

世界銀行により、カンパラ市内の交差点改良や信号機導入が予定されている。本事業と世界銀行が整備した交差点・信号機との相乗効果により、上位目標の達成に向けてより効果的な活動が期待できる。

4. 協力の枠組み

(1) 協力概要

1) 上位目標と指標

【上位目標】

カンパラ市内主要道路の交通流が円滑になる。

【指標】

1. 緊急活動計画（IAP）に示される道路の交通容量が増加する。
2. 市民の交通マナー及び都市交通問題に関する意識が改善される。

2) プロジェクト目標と指標

【プロジェクト目標】

KCCA のカンパラ市内における交通流管理能力が強化される。

【指標】

1. パイロットプロジェクトを実施する交差点の交通容量が増加する。
2. KCCA の交通流管理計画に関する理解度が深まる。
3. 市民に対して交通安全に関する意識向上を目的としたキャンペーンが実施され、市民に認知される。

3) 成果

1. KCCA による都市交通管理政策が強化される。
2. 交差点改良設計能力が強化される。
3. 交差点における交通信号設置・維持管理能力が強化される。
4. 交通ルール遵守にかかる意識啓発プログラムの実施能力が強化される。
5. 交差点を中心とする交通流管理能力が強化される。

5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件

特になし

(2) 外部条件（リスクコントロール）

- ・カンパラ市内の交通量の伸び率が著しく上昇しない。
- ・IAP に基づく活動が実施される。
- ・交通流管理能力が KCCA に備わる。
- ・ウガンダ政府による道路政策が変化しない。
- ・ウガンダ政府負担のプロジェクト予算が確保される。

6. 評価結果

本事業は、ウガンダ国の開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。

7. 過去の類似案件の教訓と本事業への活用

(1) 類似案件の評価結果

ウガンダ国「カンパラ市内交通事情改善計画」（2005～2007 年度）では、交通安全意識の向上や交通法規遵守のために交通警察等の関係組織との連携強化を図ることが指摘された。また、担当者の離職が運営維持管理の中断につながらないために、技術指導を複数のカウンターパートに対して行うこととマニュアルを複数部提供する等の対応が必要であるとの指摘があった。

(2) 本事業への教訓

本プロジェクトでは、実施機関、交通警察、その他関係組織等の連携向上を図る。また、機材の据付、交通管制システムの試行・調整段階から本導入までの期間を対象にソフトコンポーネントによる協力を計画し、カウンターパート複数名を対象にして組織に技術を定着させる。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

4. (1) のとおり。

(2) 今後の評価計画

事業開始 3 か月	ベースライン調査
事業終了 3 年度	事後評価